

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふあーすとすてつぶ		
○保護者評価実施期間		2025年 1月 10日	~ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間		2025年 1月 10日	~ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・担当制で支援をしているので、1年の支援の見通しが持ちやすく、スムーズな支援につながる。 ・お子様や保護者の方との関係が築きやすく、相談や連携がしやすい。	・月に1回事業所内での会議を開き、1日で抱え込まないよう、チームで支援の方向性を相談や確認をしている。 ・連絡ツールを使用し、事業所での様子を写真や動画で個別でお知らせしている。	・引き続き、登所や降所時に保護者の方の送迎により、お子さんの様子や支援内容の報告を行うようにしていく。
2	・系列事業所として、児童発達、放課後等デイサービスがあるので、長期に渡りお子さんの支援を行うことが出来る。 ・事業所間での合同活動も行うため、スタッフ間での連携や移行前後の成長と一緒に見守ることもできる。 ・1年に一回、大きな会場を貸し切っての系列事業所合同で発表会を行っている。	・就園前から支援することで、生活習慣の基盤作り、就園、就学に向けて支援していくことが出来るようにしている。 ・大きな会場にすることで、観覧自由の席も設け、地域の方にも見ていただける機会を作っている。	・発表会のお知らせを地域の施設に掲示してもらい、地域の方に見ていただける機会を増やしていきたい。
3	・外部の講師を依頼し、活動したり、家庭では通えない活動を取り入れている。(英語、アート、太鼓、体操教室、歯医者、音楽(ピアノやリコーダー等)など)	・通常療育や、土曜日の療育にプログラムとして年間の予定を立てている。 ・1年に一回発表会で、発表の場を設けている。	・引き続き、様々な活動が体験できるよう、年間で計画していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・マンションの1室でやっているので、バリアフリーではない。 ・介助が必要な方への十分なスペースが確保されていない。	・契約前の見学の段階で、保護者の方へ室内を見ていたらしく機会を設けているが、段差へのスロープ設置はしていない為環境不足。 ・改装工事が行えない為、トイレなどスペースが確保されず介助がしにくい。	・2025年内に、新しい建物を建設予定の為、バリアフリー構造になる予定。 ・肢体不自由児さんには必ず介助者が側につくように配慮している。
2	・保護者同士の交流の機会や交流イベントの周知・発信不足による参加率が低い。 また、実施していることの発信不足。	・お知らせを配信するが、開催内容の発信不足。 ・SNSでの開催内容の発信不足。	・SNSでの発信をし、開催の様子が分かるように周知していく。
3	・保護者の方への非常時等への対応（緊急時・感染症等）に対する周知・発信不足。 また、訓練等実施していることの発信不足。	・防災への取り組みや緊急時の対応は作成しているが、契約時のみの説明に留まり、周知が不足。 ・SNSでの発信不足。	・防災への取り組みや緊急時の対応に関しては、隨時見直しをしていく。新施設移転の際には、見直しを行う。 ・SNS等を通じて、保護者の方へ取り組みを発信していく。